

KAS

風の谷

びゅう
VIEW

社会福祉法人 風の谷

〒市田名7236-3

責任者 政野 光廣

- 760-1033

www.kanagawa-id.org/yamabiko/

ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



風の谷の”戌”たち…

明日に向かって…躍進！！



【2006年 春号】

巻頭文	P 2	新春の挨拶	P 3
特集：一泊旅行	P 4・P 5	新年の抱負	P 6
自閉症について、研修報告	P 7	後援会のページ	P 8

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 柳場秀雄 〒228 0806 相模原市栄町 6 14

毎月 15 日発行 購読料 1 部 50 円

～ 理事長より ～

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆さまには新たな気持ちでご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、福知山線の脱線事故、ライブドアによる企業買収や粉飾疑惑また姉齒事務所を関連としたグループによるマンションなどの耐震構造虚偽など、利益のみを優先させる「勝ち組」と呼ばれる一部の企業活動が人の生活や安全という事さえも、金儲けのためには省みないという企業倫理の欠如が露呈された年で在ったように思います。この国の行く末を危惧する論調も多く見受けられました。

私たちの福祉行政の関連では「障害者自立支援法」が成立し、本年度4月から施行されることになりました。また、法律には盛り込まれなかったものの、自閉症協会等の尽力により、「・・・発達障害、難病などを含め、サービスを必要とするすべての障害者が適切に利用できる普遍的な仕組みにするよう検討を行うこと。」という付帯決議がなされ、

「自閉症、強度行動障害の人達に対して、専門性や人員配置の高いサービス体系を作ることが課題であり、現状より適切なサービスが提供されるように位置付けたい。」との厚労省の国会での答弁がなされています。

さて、この法律の施行に当たって行政の説明会も各方面に成されていますが、当事者の父母の話を聞きすると、具体的なサービスや仕組みの違いが実感として分かりにくいとの意見がありました。利用者の応益負担という、障害者の地域生活の根幹に関わる制度改革にもかかわらず今までと違い、どのサービスが向上したのか、本当に自立支援につながり、自閉症の人達が将来に渡って自立していける具体的な目安が持てない。新たな応益負担という制度の中で本当に今までの地域生活が維持できるのかという不安。障害程度区分判定の地域による相違、あるいは判定基準のそのものの問題など幾つかの疑問や不安点が聞こえてきました。

この法律は3年後には見直すことが規定として設けられています。まずは法人としてなすべきことは4月のスムーズな制度移行に向けて、法人としての課題整理と対応策の策定にあります。また、同時に施設運営の基本であり、「利用者にとって魅力ある施設運営の構築」に引き続き注力する所存です。その為に職員一人一人が、先を見る目と自らの弱点や強みを整理、認識し、強みを伸ばし、変化を担える人材として魅力あるサービスを提供出来るよう研鑽を積み、利用者の満足度の高い法人、施設運営を目指したいと思います。

社会福祉法人風の谷 理事長 政野光廣



充実のサービスを目指して

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすばらしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、平成15年度から措置制度に代わる利用契約制度としてスタートした支援費制度が財政破綻により終焉を迎え、新たに三障害（知的、身体、精神）へのサービス提供の仕組みを一元化した障害者自立支援法が本年4月より一部施行され、10月には完全施行される運びとなりました。

昨年は、この障害者自立支援法をめぐり、国及び地方自治体への働きかけや情報収集等の活動に追われ、例年以上に会合や研修等に参加する機会が多一年でありました。

今年は、これまで培ってきた自閉症支援のノウハウを生かした事業を、新制度の下でどのように組み立て展開していくのか、そのための準備に全力を尽くしたいと思います。

施設事業者にとっては措置時代から続いてきた月額報酬制から日額報酬制に変わり、単価の切り下げも想定されていることから、経営面では大変厳しい状況になることが予想されます。

また、サービスを利用される方たちにとっては今までにない負担が発生することもあり、不安が多いことと拝察しています。サービス利用者への積極的な情報提供と真摯な意見交換に努め、スタッフ一丸となって、新しい時代にふさわしい、よりよいサービス提供に全力を挙げていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。（施設長：中島博幸）

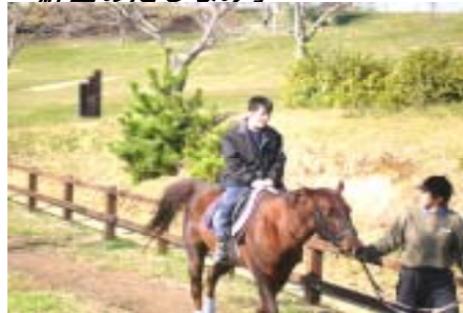
新たな制度、新たな仕事と生活

あけましておめでとうございます。日本経済も回復の兆しを見せていたところに、IT長者の象徴的存在であるライブドアの家宅捜査が行われるというショッキングなニュースが飛び込んできました。球団買収、企業買収等で世間を賑わしてきた人だけに様々なバッシングを受けてきましたが、なんとなく応援していた一人として大変残念に思いました。事件の真相、内容についてはよく分からないのですが、このことが発端で景気の衰退に繋がらなければよいです。第二次バブル期と呼ばれることのない様、切に願ひます。というのも、今後の福祉を考えていく上でも日本経済の活性化は必要不可欠だと思うからです。

障害者自立支援法が成立し4月には施行されます。自己負担の問題も勿論大きいのですが、就労も含めた所得保障の問題がさらに大きくなっていくのだと思ひます。今後変わっていく施設体系にも就労移行支援・就労継続支援が織り込まれています。どの様に機能していくか分かりませんが、ぜひ、障害の有無に関わらず働きやすい社会になってくれればと思ひますし、そのために頑張っていこうと思ひます。（利用者さんは勿論ですが、私たち職員にとっても!!）

今年は冬季オリンピックに始まりサッカーワールドカップ、WBCと人気スポーツの国際大会が目白押しです。（他にもバスケットボールの国際大会が夏に行われ、アメリカのドリームチームも日本に来るのですよ。たぶん・・・）スポーツからも大きな力を貰ひ、皆さんと一緒に力強く前に進んで行きたいと思ひます。本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。（統括主任：西村三郎）

「紳士のたしなみ」



秋晴れの朝、私たちが牧場に到着すると、ちょうど馬がトレーナーと一緒に納屋から出るところでした。これから自分たちが乗る馬が足慣らしをするのを見ながら、ちょっぴり不安の混じった、それについて好奇心一杯の様子で待つ、二人の利用者さん。

そして、いざ乗馬。待っている間に真剣に観察していたおかげで、しっかり心の準備も出来ていたようで、すばやくまたがり、颯爽とした姿を見せてくれました。少し身を硬くしつつ、それでも誇らしげな表情はとても満足そうでした。

「何か新しい『体験』を。」と考へ、挑戦してみました。が、ご覧のとおりとても有意義な体験になりました。

二人の利用者さんにとって、乗馬は今後の余暇活動の選択肢にも加えることができそうです。(稲垣)



今年もけっこうスゴイ!!!

「グルメな海の男たち」

待ちに待った一泊旅行です。みんなで車に乗り、のんびり伊豆・熱海旅行へ出かけます。

熱海から初島までのフェリーでは満面の笑みのHさん。甲板に立ち大海原を見つめるSさん。二人ともたのもし「海の男」と化していました。

初島ではみんなでゴーカートに乗りました。風をきるのはとても気持ちよかったです。

夕食はみんなで「ぎょうざ鍋」を食べました。おいしい鍋を食べ、ほっこりと心からあたたまり、一日を終えました。



2日目の午前中はドキドキの「陶芸体験」です。事前の心配はよそに、二人とも落ち着いて土をこね、素敵な作品を仕上げていました。

午後は「ぐらんぱる公園」。公園ではサーカスのようにアクロバティックな動きでアスレチックを楽しむSさん。普段はとても大人しく、動くことも少ないHさんがとっても長いすべり台を笑顔で滑走する姿にはビックリでした。

今回の旅行を通し、私は普段とは違う利用者さんの「素の姿」を知りました。(細谷)



「太陽の味見」

「はい、撮りますよー。」

皆さん満足そうな表情で記念撮影。浜名湖近くの果樹園でくだもの狩りを楽しんだ後の1コマです。キウイ狩りを目指して行ったのですが、定期的に終わってしまった後。でも、ミカンとカキの木が「どこまで続くのか。」というくらい道の両側に続いて午後の日を橙色に照り返しています。2人の利用者さんに聞いてみると、うまく希望が分かれて付き添いのスタッフと2人一組になりカゴとハサミを抱えて、いざ出陣。それぞれ、その場で食べたいのを我慢しながら一つ一つ大きな実をカゴに入れて受付テントへ戻ると、そこへミカンの山が「採ってしばらく経ってからのほうが甘いんだよ。」と午前中収穫したものをおじさんが用意しておいてくれました。採ってきたものと食べ比べをしながら、「全身、だいたい色になってしまうのでは。」と思うくらい太陽の味を堪能してきました。(野田)



～一泊旅行体験記～

「せっかくだからやってみようよ。」

野田さんのこの言葉に驚愕した人は何人もいるだろう。今回もそうだった。Sさん、Kさんとそば打ち!? 本当に無謀だと思っていた。

当日、そば打ち体験の家は古風な民家で、とても広々としていた。Kさんはエプロンをつけたあと、部屋の隅を自分のスペースとした。Sさんは、座ってこれから始まるイベントに興味津々といった感じで、動き回ることも無くじっと座って、期待に満ちた眼差しで作業台を見つめていた。

そば作りに入りSさんは、そば粉をちょうどいい力加減で捏ねたり、生地を伸ばしたりするなど、ほとんどの工程で楽しそうに参加できていて、その技術に驚くばかり。Kさんはそば切りや、そばを茹でる工程が特に気に入りの様子で、その場は「私が担当!」とばかりに楽しそうにそば作りをしていた。

出来上がったそばは、新鮮で香ばしく想像以上においしく、あっという間に全部食べきってしまった。多少大きさが不ぞろいだったり、硬かったりしてもそれは、自分達で作った味。ほんとうにおいしかった。

今回の旅行は、何事にも躊躇せずにチャレンジしてみれば、なんでも出来てしまうということを学ばせてもらった。

いい旅だった。

(岩原)



「風の谷」スタッフ 今年の抱負

テーマは「躍進」、「前進」

初心に**か**えり、日々の生活を大事にしていく！時間に流されず、日々、目標を持って。(支援・渡辺)

家内あん**ぜん**、一家和楽、感謝の気持ちを忘れずに。(支援・野田)

よりBetterな支援**の**ために、Bestを尽くす！(支援・岩原)
気が付いた**ら**ゴミを拾いに行く。毎日決まった時間に起きる。(支援・谷澤)

昨年**に**引き続き「笑顔」です。(厨房・川成)
1.笑顔を決やさない 2.新しい発見**を**する 3.何事にも楽しみを見つける 頑張ります。(支援・安岡)

如入無人之境・・・**こ**れでいきます。(事務・三城)
ゆったり**と**一人ひとりの心の声を聴く、感性を磨きたいです！(支援・細谷)

食堂の窓からの眺めは季節の色があって心を優しく**し**てくれます。お昼の時間を利用者さんが楽しみにしてくれるように笑顔で接していきたいと思ひます。(厨房・今田)

工房で働き始めて2年目。まだまだ不慣れなこと**も**ありますが、少しずつ視野を広げられる年にしたいです。健康第一。まずはジムに通い身体を鍛えます！(支援・稲垣)

どんなに小さくて身近なことでも、自分なりに頑張ったと思ひることが1つずつ増えていくといいと思ひます。そして2006年振り返った時に少しでも成長できたなと思ひえる**よ**うな1年にしたいです。(支援・二ノ宮)

イライラしているようだった。かすれた声を聞いたから黙ってキャンディーを差し出す。それは優しさ？そんなさりげない優しさは捨ててしまおう。素知らぬフリをしよう。欲しいと言ってくれるまで。伝えよう。キャンディーが痛みを和らげてくれることを。難しいかなあ。噛んでしまうだ**ら**うから。噛まないように、噛まないように。練習しよう。欲しいと伝えられるように。痛い伝えられるように。(支援・薬師丸)

今年は心にゆとりを持つよう心がけたいと思ひています。まずは読書の時間を増や**し**ます。(厨房・中曾)

明るく**元**気に逃げずに前向く。(支援・村田)
グループホームでの快適な生活が**お**くれる様、利用者皆さんの体調の変化、住まいの不具合にいち早く気付ける様、心掛けていきたいと思ひます。(支援・新城)

利用者さんに喜ばれるお食事作りと、早く皆さんの名前が覚えられる様にします。本年もよろしくお**ね**がいたします。(厨房・関田)

最近物忘れがひどくなり、我な**が**らびっくりしてしまいます。お若い方々にご迷惑をかけない様に、気を張ってお仕事していきたいと思ひております。(厨房・山中)

初心にかえって頑張**っ**て**い**きたいです。(支援・宮崎)
残菜が少なくなるほど、利用者さんが気に**い**って下さる食事づくりを目指します。(厨房・原)

利用者さんの生活の幅を広げられるよう皆さんの声に耳を傾けていき**たい**と思ひます。(支援・鹿野)

利用者さんの視線、行動、声を頼りに、何を考えているのかな？と思う視点を忘れず、一日一日を楽**し**く関わっていききたいと思ひます。(支援・滝田)

明るくたのしく元氣よく！たく**ま**しく！(支援・粕谷)
風の谷に入って4ヶ月。ようやく利用者さんの顔と名前が一致してきました。これからはより良い対応が出来るようにしたいと思ひま**す**。(厨房・田辺)



自閉症について

昨年の12月4日、座間で行われたニキ・リンコさんの講演会に参加する機会がありました。彼女の最近の著書「自閉っ子、こういう風にできてます！」でも取り上げられていましたが、自閉症者の身体感覚についてここでも興味深い話を聞くことができました。例えば...

「痛い」について感じていたこと 小4まで痛覚がなかったので、「血が出たら痛い」のだと思い込んでいた。何か硬いものにぶつかったときに「痛かったね」とか、誰かを叩いたとき「そんなことしたら痛いでしょ」といわれ、(すりむいていないのに「痛い」?? 血が出ていないのに「痛い」??)ということは、すりむく=痛い、血が出る=痛い、ではないのか...。「痛い」って何だ? 人が教えてくれるもの??)という風に考えていた。

ある日、お母さんが「お腹が痛いの?」と訊いてきた。大人が子供に訊くなんて...。大人は教える係でしょ? そこでお母さんの手を引っ張って自分のお腹にさわらせて「痛い?」と訊いた。「お腹が痛い」感覚はあったがはっきりしなかった...。だってすりむいてないし...

「つめたい」について感じていたこと 冬に外から帰ってきて、自分の手を握った母が「つめたいね」と言った。(握られた圧迫感、それとも生ぬるい感じが「つめたい」なの? でも水も「つめたい」しアイスもつめたい。法則がわからない。人が教えてくれるもの??)ちなみに「あつい」についても同じだったそうです。

好き嫌いについて 自分が好き嫌いを感じるより先に「好きだよね」、と言われていたため、好き嫌いも大人に教わることだと思っていた。ある日、隣の家に遊びに行ったとき柿を出してもらった。柿は食べたことがなかったので、おばさんに「柿は好き?」と訊かれたとき「知らない、お母さんに訊いてくる。」と言って家に帰った。

上に挙げた3つの話は、自分が受けるいくつかの感覚がない(あるいは弱い)ために、言葉とその感覚が一致せずコミュニケーションがうまくいっていない例だと思います。「自閉っ子、こういう風に~」の本の中でニキさんが、コタツの中に入れた見えないうちの足は「なくなってしまふ」、ということをやはり自らの身体感覚の一例として紹介しています。

すべての自閉症者がそうではないと思いますが、自閉症者は自分の体を自分の体として感じる力が弱いと言われてます。私たちは体というセンサーを通して外界からの情報を取り入れています。このセンサーの部分の感じ方にムラがあったり突然シャットダウンしてしまうというのは、日常生活を送る上で相当な困難を伴うのではないのでしょうか。こうしたことは、支援する側の私たちにはなかなか実感することは難しいものです。でもこうして言葉で「自分の障害の困難な部分」を説明できる人の話を聞くことは、普段支援する中で想像力を働かせるための大きなヒントになり有意義なものとなりました。(鹿野)

《障害者IT利活用研修会~障害者へのIT支援を考える》

平成17年11月11日、同講座に参加させて頂きました。障害者の社会参加をIT利活用支援の側面から推進する為に、必要な知識や技術を学習し支援の意義や関心を深めると同時に、パソコンボランティアと福祉施設関係者との協働の可能性を探るといった目的の講座です。

(プログラム)

知的障害者の効果的なIT利活用

身体障害者を支えるIT

ITを活用した障害者の就労に関する事例

パソコンボランティアの活動に関する事例



障害者の生活や学習を支援する機器として、写真・VOCA(要求を音声で伝える機器)・Time Aid(時間の進捗を視覚的に提示する機器)・コンピュータなどの紹介がありました。やまびこ工房でも、絵カードを利用したスケジュールや要求カード、時間の終了を知らせるTime Aidなどを使用し、利用者さんの支援に役立てていますが、特にコンピュータをベースとしたツールに関心を持ちました。パソコンのソフトなのですが、絵カードを選んでいくだけで、自分の伝えたい事を簡単に文書してくれるものです。あっ、このソフトうちにも欲しいなあ...とってしまいました。実際にやまびこ工房でも、インターネットで閲覧したり、ワープロを使用したり、コンピュータを扱う利用者さんもいます。“コミュニケーションを図るツールである”と共に、プラス何かできたら...。いろいろと想像が膨らみます。今や一家に一台、パソコンのある時代です。必然的にパソコンに触れる機会も増えてくると思います。“パソコンゲームで遊んだ”、“計算ができた”、“文書を作成できた”などキャリアアップの一面にもつながり、経験が豊かになれば...と考えています。(渡辺)

後援会のページ

【ご挨拶】

新年明けましておめでとうございます。本年も相変わらず後援会活動にご協力下さるよう、心からお願い申し上げます。

本年4月に障害者自立支援法が施行されるため役所に提出する書類で皆様大変なことと思います。先日私も厚生労働省から出されているパンフレットをいただき、支援法について勉強させていただきました。この法案は国及び行政の経費削減以外の何物でもないのではないかと思います。小泉政策一束の大きな風呂敷を小さく絞った考えであり、福祉予算の削減を狙った法案ではないかと思われました。障害を背負って生まれてきたこの子達が純粋な心で一生懸命に生きている生活を脅かしています。他の予算(外国の援助その他)を削っても福祉活動予算復活を望みます。(デンマークとは言わないが)私たちもこれからは大変な時代になるかと思いますが、親として身体を大切に元気に生きて子どもたちを見ていかななくてはいけないと思います。

新年から政策批判になりましたが、後援会会長として、3年間無事に勤める事ができました。もうすぐ18年度に入ります。18年度も各種行事には皆様のご協力をお願い致します。

後援会会長 中塚 清



平成 17、18 年度 風の谷後援会新規・更新者、協力者紹介 (H17.11.9 ~ H18.1.10 順不同敬称略)

【更新・個人】

(相模原市内)

百田紀久男、黒田アキ、安部はつ子、菊間政好、内田まゆみ、梅田英子、小針徳枝、野崎廣子、中村達哉、西村良子、川合義正、鈴木フミ、石崎守

(その他地域)

佐藤辰男、新井靖数、藤野喜友、内田照雄(厚木市)、村井伸芽、上野悟(川崎市)、鈴木邦重、浅羽昭子(横須賀市)、清水洋子、福澤はつ子、高相眞一、内藤美也子、安藤紀子(横浜市)、有路富夫(海老名市)、小山かおり(町田市)、坂井洋子(調布市)、上城功(八王子市)、高柳彩子(逗子市)、上城春子、田中正子(福岡県)、守屋恵美子(大阪府)、吉田史郎、濱田安司、小田島昭子(東京都)、上城和子(北九州市)、中島敏晴(札幌市)、川野敏雄(苫小牧市)、松岡清一(青森県)、浅山泰子(長野県)、源新和子(盛岡市)

【新規・個人】

稲垣久和(東京都)

【新規・団体】

宗教法人日本キリスト教会上溝教会(相模原市)

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的としております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

お問い合わせ先

〒229-1124 『風の谷後援会』事務局

相模原市田名 7236-3 社会福祉法人 風の谷 内 TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345